

△ABC において、 $AB = AC = p$, $BC = q$ とするとき、次の各問に答えよ。

- (1) △ABC の外接円の半径 R を p, q を用いて表せ。
- (2) △ABC の内接円の半径 r を p, q を用いて表せ。
- (3) p と q が整数であり、 $rR = \frac{25}{2p+q}$ が成り立つとき、 p と q を求めよ。

(20 名城大 理工 2 月 2 日 2)

【答】

- (1) $R = \frac{p^2}{\sqrt{4p^2 - q^2}}$
- (2) $r = \frac{q\sqrt{4p^2 - q^2}}{2(2p + q)}$
- (3) $(p, q) = (5, 2)$

【解答】

- (1) 辺 BC の中点を M とすると、 $\angle AMB = 90^\circ$ であり、三平方の定理より

$$AM = \sqrt{p^2 - \left(\frac{q}{2}\right)^2} = \frac{\sqrt{4p^2 - q^2}}{2}$$

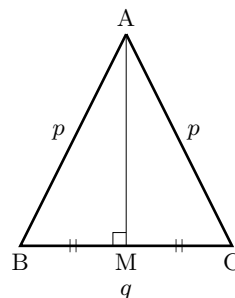
である。したがって

$$\sin B = \frac{AM}{AB} = \frac{\sqrt{4p^2 - q^2}}{2p}$$

であり、△ABC で正弦定理を用いると

$$\begin{aligned} R &= \frac{AC}{2 \sin B} = \frac{p}{2} \cdot \frac{2p}{\sqrt{4p^2 - q^2}} \\ &= \frac{p^2}{\sqrt{4p^2 - q^2}} \end{aligned}$$

……(答)



である。

- (2) △ABC の面積を 2 通りに考えると

$$\triangle ABC = r \cdot \frac{AB + BC + CA}{2} = \frac{r(2p + q)}{2},$$

$$\triangle ABC = \frac{1}{2} AB \cdot BC \sin B = \frac{1}{2} pq \cdot \frac{\sqrt{4p^2 - q^2}}{2p} = \frac{q\sqrt{4p^2 - q^2}}{4}$$

であるから

$$\frac{r(2p + q)}{2} = \frac{q\sqrt{4p^2 - q^2}}{4}$$

$$\therefore r = \frac{q\sqrt{4p^2 - q^2}}{2(2p + q)}$$

……(答)

である。

(3) (1), (2) の結果から

$$rR = \frac{q\sqrt{4p^2 - q^2}}{2(2p + q)} \cdot \frac{p^2}{\sqrt{4p^2 - q^2}} = \frac{p^2q}{2(2p + q)}$$

となるから, $rR = \frac{25}{2p + q}$ が成り立つとき

$$\frac{p^2q}{2(2p + q)} = \frac{25}{2p + q}$$

$$\therefore p^2q = 50$$

である. これを満たす整数 $p, q (> 0)$ の組は

$$p^2q = 1^2 \cdot 50, 5^2 \cdot 2$$

$$\therefore (p, q) = (1, 50), (5, 2)$$

であるが, 三角形の成立条件から

$$p - p < q < p + p \text{ すなわち } 0 < q < 2p$$

が成り立つ必要がある.

よって, 求める p, q の組は

$$(p, q) = (5, 2)$$

……(答)

である.